

## 人口減少地域における神社の保全プロセスに関する研究 —新潟県佐渡市南東部に着目して—

### A Study on the Shrine Conservation Process in Population Decrease Region —A case study of the southeastern Sado, Niigata—

○佐藤悠貴<sup>1</sup>, 押田佳子<sup>2</sup>\*Yuki Sato<sup>1</sup>, Keiko Oshida<sup>2</sup>

Abstract: In this paper, we investigated the succession of the shrines in depopulation region. As a result, it is clarified that we should management shrines and utilize Noh.

1. 背景および目的—佐渡島は、「古事記」の国生み神話に登場する等、日本史における記録は古く、由緒ある神社が数多く創られた地域である。加えて、平安期以降、承久の乱で敗れた順徳上皇や能楽の大成者である世阿弥等の政争に敗れた貴族や知識人の流刑地として定められたことで、京都をはじめ各地の様々な文化が伝わり、佐渡島特有の多様な宗教文化が形成されてきた、歴史文化価値の高い地域であるといえる<sup>[1]</sup>。

近代には北前船貿易や金銀山等で人口が増加し、一時期は日本一の人口を誇った新潟県の一端を担う重要な位置を占めていたが、その後、鉱山の閉鎖や都市部への人口集中等により人口減少が進み、現在は過疎地域となっている。加えて、神社に関しても、全国の過疎地域同様に衰退の一途を辿ると考えられる<sup>[2]</sup>。

一方で、佐渡島は平成 29(2017)年に日本遺産に登録され、加えて「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」として世界文化遺産登録を計画しており、観光まちづくりに向けて様々な取り組みが行われている。その上で、文化価値の高い神社は重要な位置を占めると考えられる<sup>[3][4]</sup>。

そこで本研究では、佐渡島における神社の管理および活用実態より、神社の保全プロセスを明らかにし、人口減少地域における神社の継承の在り方を探るものとする。

2. 研究方法—本研究では、島内でも人口減少が著しい佐渡島南東部(Figure1 より、旧真野村ほか 4 地域)を対象地とし、大正 15(1926)年刊行の『佐渡神社誌』(以下、大正期)および平成 8(1996)年刊行の『平成佐渡神社誌』(以下、平成期)に記載された 77 社を対象とする。調査方法を Table1 に示す<sup>[5][6]</sup>。

Table1 Outline of the survey(調査概要) (This is original table by authors)

調査対象	佐渡市南東部に位置し佐渡神社誌に記載された神社	
調査期間	2018年6月1日~2018年9月24日	2018年7月29日~8月1日 2018年8月22日~8月24日
調査方法	文献調査	ヒアリング調査および現地調査
調査項目	・神職の有無 ・氏子 ・能舞台 等	・本務兼務実態 ・維持管理状況 等

3. 結果および考察—本研究では、宮司が直轄管理している神社を本務神社、他の神社の宮司が訪れて祭礼を執り行う神社を兼務神社とする。神社の分布と変容状況を Figure1, 対象神社の概要を Table2 に示す。

3-1. 神社の分布状況—Table2 より、大正期における本務神社は、全 77 社中 30 社であったが、平成期には 17 社まで減少しており、氏子に関しても「17 小布勢神社」の 273 戸から 130 戸まで減少するなど、多くの神社で大幅な減少がみられた<sup>[5][6]</sup>。本務神社の分布状況は、大正期には多少の地域差はあるものの地域全域に点在していたが、平成期には、旧真野村に集中しており、その理由は対象地域内でも比較的過疎が進行していない国仲平野に位置していることが挙げられる。

次に大正期から平成期にかけて、本務から兼務に移行した神社は 15 社あり、分布状況は、本務が継続している神社とは対照的に、人口減少が著しい旧西三川村と旧羽茂村に集中している。また、宮司数についても大正期の 30 名に対し平成期には 19 名まで減少した。特に旧小木町は 6 人から 2 人に減少し、旧羽茂村については 9 人から 2 人に減少した<sup>[5][6]</sup>。これらの地域では 1 人の宮司が数多くの神社を兼務せざるを得ない状況になっており、神社管理が数少ない宮司に集中し、困難になってきていると考えられる。

3-2. 神社継承と合祀—旧真野村にある「9 諏訪神社」は、平成佐渡神社誌掲載時には本務神社であったが、現在は宮司のウ氏の逝去に伴い、宮司不在の不活動神社となっており、氏子の要望により近接する「3 総社神社」の末社とするよう申請がなされている。この事例より、人口減少および高い高齢化率という地域の課題を考慮すると、神社の継承方法として、中小規模の神社を大規模神社の飛地末社とすることや合祀を行うことは管理者や宮司への負担を軽減する手段として有効であるといえよう。

1 : 日大理工・学部・まち、2 : 日大理工・教員・まち

3-3. 能と神社継承の関係性—佐渡島は江戸時代に初代佐渡奉行の大久保長安により、広く能文化が普及し、能舞台は最盛期には島内に 200 軒以上存在し、各地で能が行われていた<sup>[1]</sup>。現在は 35 軒まで減少し、その中でも能が行われている神社は、島内で 7 社、対象地域内では「12 大膳神社」と「43 草刈神社」の 2 社のみとなっており、衰退の一途を辿っている<sup>[1][5]</sup>。一方で、伝統芸能の継承活動に対して市が補助金を交付する等、保全に向けた取り組みがなされている<sup>[1]</sup>。

現地調査より、全 77 社中、能舞台を有している神社は 15 社確認でき、そのうち本務神社は大正期では 14 社、平成期では 7 社あることから、能舞台および能等の伝統芸能と神社の継承には深い関係性があると推測でき、神社継承の手段として能等の伝統芸能の活用は有効であるといえる。

4. まとめ—以上より、人口減少地域である佐渡島南東地域において、神社自体は存続するものの、氏子ならびに宮司数が減少し、管理者および宮司への負担が増加していることが明らかになった。これは神社継承において非常に不安定な状態であるといえ、加えて宮司自体の高齢化が進んでいることより、さらに減少することが予想される。それ故に小規模の兼務神社においては、計画的に本務神社の飛地末社にする、あるいは合祀という手段を図る必要があるといえる。一方で、能舞台が現存する神社の継承水準が高いことから、神社保全の手段として、神社管理と能の保全活動との協力体制を築くことで有効な在り方が望めるといえる。

5. 参考文献

- [1]一般社団法人佐渡観光交流機構佐渡観光ナビ <https://www.visitsado.com/feature/nohstage/>,2018/09/20[2]佐渡市産業観光部世界遺産推進課佐渡の文化財 [https://www.city.sado.niigata.jp/z\\_oi/cultural\\_property/property\\_c/1500/1501-04.shtml](https://www.city.sado.niigata.jp/z_oi/cultural_property/property_c/1500/1501-04.shtml),2018/09/20[3]文化庁 これまでに認定された日本遺産一覧 [http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/mihon\\_isan/ichiran.html](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/mihon_isan/ichiran.html),2018/09/20[4]新潟県教育庁文化行政課 佐渡金銀山 <https://www.sado-goldmine.jp/towards/>,2018/09/20[5]新潟県神職会佐渡支部、「佐渡神社誌」新潟県神職会佐渡支部,pp131-298,1926[6]平成佐渡神社誌編集委員会、「平成佐渡神社誌」,新潟県神社庁佐渡地区協議会,pp216-338,1996

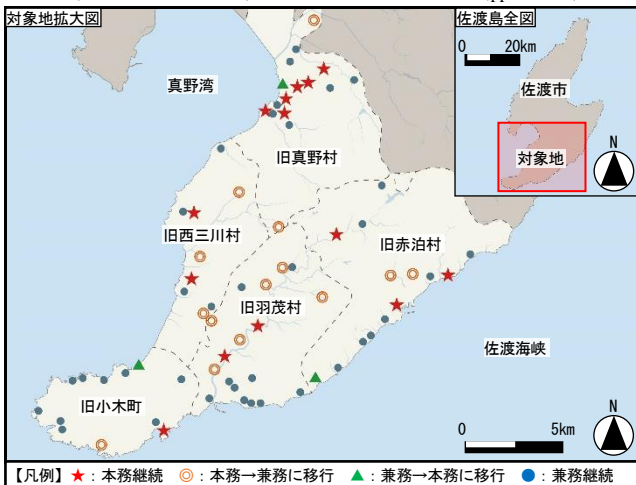


Figure1 Transformation and distribution of shrines (神社の分布と変容状況) (This is original figure by authors)

Table2 Overview of subject shrines (対象神社概要) (This is original table by authors)

社格	神社名称	能舞台	創建年	祭神数	大正期	宮司	氏子数	平成期	宮司	氏子数
旧真野村										
1	県社 真野宮	無	明治初期	3体	本務	ま氏	本務	マ氏		
2	郷社 引田部神社	無	不明	5体	本務	み氏	123戸	兼務	ウ氏	102戸
3	村社 総社神社	有	不明	13体	本務	わ氏	107戸	本務	ワ氏	107戸
4	村社 新町大神宮	無	慶長5年	8体	兼務	ま氏	296戸	本務	サ氏	500戸
5	村社 大目神社	無	不明	1体	兼務	わ氏	30戸	兼務	ワ氏	30戸
6	村社 八幡若宮社	有	康元元丙辰年	2体	兼務	わ氏	95戸	兼務	ワ氏	105戸
7	村社 瀧谷神社	有	正安元年	2体	本務	し氏	87戸	本務	ヤ氏	60戸
8	村社 豊田諏訪神社	有	不明	7体	本務	と氏	122戸	本務	ト氏	175戸
9	村社 諏訪神社	無	永正元年	5体	本務	う氏	42戸	本務	ウ氏	50戸
10	村社 長石神社	無	不明	2体	兼務	ま氏	34戸	兼務	マ氏	47戸
11	村社 白山神社	無	天曆5年	3体	兼務	ま氏	41戸	兼務	マ氏	23戸
12	村社 大膳神社	有	延喜5年	3体	本務	の氏	148戸	本務	ヒ氏	107戸
13	村社 稲荷神社	無	不明	2体	本務	か氏	60戸	兼務	コ氏	18戸
14	無格社 北野社	無	明治15年	1体	兼務	の氏	3戸	兼務	ヒ氏	21戸
15	無格社 熱田社	無	不明	1体	兼務	の氏		兼務	ヒ氏	46戸
16	無格社 少童神社	無	不明	1体						
17	無格社 諏訪神社	無	不明	1体						
旧西三川村										
18	郷社 小布勢神社	有	明德5年	5体	本務	た氏	273戸	本務	タ氏	130戸
19	村社 白山神社	有	不明	3体	本務	お氏	106戸	本務	オ氏	84戸
20	村社 諏訪神社	無	不明	2体	兼務	さ氏	16戸	兼務	タ氏	16戸
21	村社 諏訪神社	無	不明	1体	本務	ほ氏	22戸	兼務	タ氏	22戸
22	村社 大山延神社	有	文禄23年	1体	本務	さ氏	32戸	兼務	タ氏	32戸
23	村社 氣比神社	有	不明	7体	本務	り氏	52戸	兼務	オ氏	35戸
24	村社 大平神社	無	不明	1体	兼務	り氏	10戸	兼務	カ氏	10戸
25	村社 白山姫神社	無	不明	7体	本務	や氏	59戸	兼務	オ氏	41戸
26	無格社 神明社	無	嘉永5年	1体	兼務	や氏		兼務	オ氏	
27	無格社 神明社	無	不明	1体	兼務	や氏		兼務	オ氏	
旧小木町										
28	郷社 木崎神社	無	慶長13年	13体	本務	は氏	545戸	本務	ハ氏	400戸
29	村社 白山神社	無	建治3年	7体	本務	ひ氏	217戸	兼務	カ氏	133戸
30	村社 狹大宮神社	無	永禄	15体	兼務	ひ氏	100戸	兼務	カ氏	64戸
31	村社 小比叡神社	無	不明	3体	兼務	た氏	50戸	兼務	タ氏	50戸
32	村社 小石神社	無	不明	1体	兼務	り氏	40戸	兼務	カ氏	38戸
33	村社 大平神社	無	不明	4体	兼務	や氏	18戸	本務	カ氏	15戸
34	村社 熊野神社	無	不明	3体	兼務	ひ氏	21戸	兼務	カ氏	31戸
35	村社 日吉神社	無	神龜5年	2体	兼務	ひ氏	61戸	兼務	カ氏	33戸
36	村社 熊野神社	無	文治5酉年	5体	兼務	ひ氏	26戸	兼務	カ氏	26戸
37	村社 犬神社	無	不明	1体	兼務	や氏	21戸	兼務	カ氏	15戸
38	村社 白山神社	無	寛永10年	1体	兼務	や氏	19戸	兼務	カ氏	18戸
39	村社 白山神社	無	建久元年	1体				兼務	カ氏	20戸
40	無格社 秋葉神社	無	明治13年	1体						
旧羽茂村										
41	國幣社 度津神社	無	不明	8体	本務	も氏	83戸	本務	ア氏	69戸
42	郷社 菅原神社	無	不明	8体	本務	え氏	125戸	本務	エ氏	150戸
43	村社 草刈神社	有	不明	20体	本務	あ氏	150戸	兼務	ア氏	174戸
44	村社 白山神社	有	天禄年中	4体	本務	な氏	102戸	兼務	ア氏	85戸
45	村社 張弓神社	有	和銅五壬子	4体	本務	い氏	67戸	兼務	エ氏	65戸
46	村社 氣比神社	有	不明	3体	本務	ち氏	145戸	兼務	ホ氏	140戸
47	村社 諏訪神社	無	不明	2体	兼務	や氏	37戸	兼務	テ氏	28戸
48	村社 白山神社	有	永享6年	2社	本務	ぬ氏	33戸	兼務	ホ氏	27戸
49	村社 諏訪神社	無	不明	1体	本務	ね氏	12戸	兼務	オ氏	10戸
50	村社 日吉神社	無	不明	2体	本務	ろ氏	10戸			
51	村社 熊野神社	無	不明	1体			33戸	兼務	ア氏	35戸
52	村社 小布施神社	無	不明	1体			6戸	兼務	ア氏	8戸
53	村社 白山神社	無	不明	3体			19戸	兼務	ア氏	19戸
54	村社 熊野神社	無	不明	1体			12戸	兼務	ア氏	12戸
55	村社 熊野神社	無	不明	2体			23戸	兼務	ア氏	32戸
56	村社 羽黒神社	無	不明	2体			37戸	兼務	ア氏	37戸
57	村社 羽黒神社	無	不明	1体			25戸	兼務	ア氏	20戸
58	無格社 羽茂本郷大神宮	無	不明	1体				兼務	ア氏	
59	無格社 北野神社	無	天治2年	1体						
60	無格社 諏訪神社	無	不明	1体				兼務	ア氏	8戸
61	無格社 龍澤神社	無	不明	1体				兼務	ア氏	
旧赤泊村										
62	郷社 八幡若宮神社	無	文永年間	5体	本務	け氏	220戸	本務	ケ氏	180戸
63	村社 春日神社	有	不明	4体	本務	き氏	152戸	本務	ツ氏	112戸
64	村社 五所神社	無	不明	10体	本務	く氏	109戸	本務	テ氏	90戸
65	村社 大涼神社	無	不明	1体	兼務	き氏	153戸	兼務	ツ氏	120戸
66	村社 諏訪神社	無	不明	2体	本務	き氏	25戸	兼務	テ氏	17戸
67	村社 高森神社	無	不明	2体	兼務	す氏	42戸	兼務	テ氏	40戸
68	村社 徳和神社	無	不明	8体	本務	く氏	80戸	兼務	テ氏	100戸
69	村社 羽黒神社	無	不明	4体	兼務	そ氏	25戸	兼務	ツ氏	23戸
70	村社 白山神社	無	不明	1体	兼務	き氏	42戸			
71	村社 白山神社	無	天永2年	2体	兼務	き氏	23戸	兼務	ツ氏	53戸
72	村社 白山神社	無	慶永13年	1体	兼務	き氏	42戸	兼務	ツ氏	35戸
73	村社 白山神社	無	天平2年	5体	兼務	き氏	62戸	兼務	コ氏	36戸
74	村社 白山神社	無	不明	3体	兼務	か氏	18戸	本務	ハ氏	18戸
75	村社 眞浦神社	無	不明	5体	兼務	や氏	15戸	兼務	テ氏	29戸
76	村社 大平神社	無	慶安4年	1体				兼務	テ氏	16戸
77	村社 北野神社	無	不明	1体			12戸			